

閉会中の調査

福祉教育常任委員会

開催日時 令和4年4月26日(火)午後3時～

出席者 松井委員長、細川副委員長、赤祖父委員、上野委員、永田委員、菅沼議長

説明員 市長、健康福祉部長、健康福祉部理事、地域医療推進課長

高齢福祉課課長補佐、石部診療所院長、石部診療所副院長、水戸診療所院長

○所管事務調査

<地域医療について> 石部診療所現地踏査

石部診療所内の2階に開設されました地域包括支援センターの石部支所を視察し、高齢福祉課から説明を受けました。

その後、4診療所の月別外来診療実績と、石部診療所の科別(内科、小児科、眼科、皮膚科)の月別外来診療の実績の説明が地域医療推進課長よりありました。

<主な質疑>

新型コロナウイルス感染症の拡大で外来診療の影響はという質疑に対して、発熱外来の届け出件数は2番目ぐらいに多い状況です。2名体制であるので、普通の外来患者と発熱外来も受け入れることが出来ているとの答弁でした。(石部診療所)

診療所では、あまり影響はありませんが、大病院は影響が出ている。例えば1年に1回胃カメラや心臓の検査を受けている方が、コロナ禍で検査控え等があり、検査が遅れたことにより、疾病が進行していた人もいと聞いているとの答弁でした(水戸診療所)。

特定健診や他の検査の状況についての質疑に対して、例年は特定健診の枠を午後からも取っていましたが、ワクチン接種が始まり、特定健診の枠を減らさざるを得なくなりました。

また、コロナの影響や時間的なことで、胃カメラの検査等も減りました、との答弁でした。

執行部からは、コロナワクチンの集団接種の金曜日の夜や、土曜日の時間枠においては、診療所の先生方をお願いをして、入って頂いていますとの説明がありました。

その後、診療所の先生方と地域医療についての意見交換を行いました。

<議会報告会について>

- ① 障がい者の就労支援で作業所の職員の方
- ② 社会福祉協議会(子どもの貧困、子ども食堂等に関わる方)
- ③ 社会福祉協議会(ヘルパー等)
- ④ ホリデースクール事業に関わる方

議論の結果、②案に決定し、社会福祉協議会の方と打ち合わせ後、日程調整を行います。

その他案件

ホリデースクール事業について

3月議会の中で、ホリデースクール事業に代わるものとして、日中一時支援事業の利用が増加した場合に加算をしていくとの説明があり、6月議会定例会中の福祉教育常任委員会で、そのことを報告案件として挙げて調査をしていく。

6月議会定例会後も引き続き調査が必要な場合は、閉会中の調査を行う。